

クローバー通信

第13回 クローバー交流会の報告



(株) 小松製作所小山健康管理室長 加藤 梨佳

3月4日に開催された第13回クローバー交流会にて、産婦人科の木内香織先生と共にロールモデル紹介をさせていただきました。木内先生は専門医を既に取得し、現在は仕事をしながら社会人大学院生として学位取得を目指しているとお話しされ、着実に産婦人科医としてキャリアを重ねていらっしゃるご様子に憧れを抱きました。

私は産業医としてのキャリアと子育ての両立というお話をさせていただきました。私は栃木県出身で産業医科大学を卒業し、大学での臨床研修医・修練医を経て、製造業で専属産業医をしています。産業医大卒の医師としては典型例なのですが、他大学卒の方には珍しく感じるかもしれません。現在は3工場約5000人の従業員の健康管理に、スタッフ5人、非常勤医師7人の力を借りて奮闘する日々です。赴任した8年前は産業保健活動が全く行われていなかった工場でしたので、勢いで活動を立ち上げました。今は落ち着き、日々の定常業務に加え、より良い活動が行われるよう改善を行っています。

また、交流会の日は大学院の卒業式で、晴れて獨協医科大学で学位をいただくことが出来ました。子供(4歳)を抱えながら、常勤として仕事をし、社会人大学院に在籍をするという4年間でしたが、職場の上司・同僚、大学院の教員の先生方に支えられ、ここまで続けることができたのだと深く感謝しています。女性のみならず、子育て・介護・病気などを抱えながら働く者にとって周囲のサポートが何より大切で有難いものだと、一人の女性として産業医として心から思います。



センターからのお知らせ

昨年9月から利用を開始しましたイブニングシッターサービスの利用状況をご報告します。

	2014年 9月	10月	11月	12月	2015年 1月	2月	3月	合計
利用者	1	5	2	2	3	9	5	27
子ども人数	1	12	2	2	3	9	5	34

※上記は延べ人数です。

イブニングシッターサービスの詳細についてはセンターのサイト内で紹介しておりますのでご覧ください。